

(別紙) 「第6回加東市消防団のあり方検討委員会」会議の経過

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 平成28年度の事業取組状況報告及び検証について
 - (2) 平成29年度以降に実施できるよう平成28年度から取組んでいるもの
 - (3) 中期的な取り組み
 - (4) 長期的な取り組み
 - (5) 加東市消防団のあり方検討委員会の提言について

発言者	説明内容・発言内容等
議長	挨拶
事務局	議題(1)平成28年度の事業取組状況報告及び検証について説明。
議長	説明のあった議事に対し、意見があれば伺いたい。
委員	操法とカエルキャラバン両方見られたので半日楽しく過ごせた。
委員	アイデアは良かった。操法の順位当ては子供には難しかったのでは。
議長	子供たちは操法を見て楽しめたが、消防団の加入に直結することは難しいかもしれない。参加して感じたことを伺いたい。
委員	カエルキャラバンの隣接会場で操法大会を行ったことで、普段操法大会や消防団活動に関心のない家族でも理解を深めることが出来たのではないかと。
議長	消防団が操法大会の採点方法を説明する場面はなかったのか。
委員	それはなかった。
議長	操法大会の採点方法をわかりやすく説明することも必要だったのでは。
委員	カエルキャラバンは、小さな子供は遊びの要素が多く感じたが、小学校高学年くらいでは、消防団に対する理解を深める役割を果たせたのではないかと。
議長	女性の意見を伺いたい。
委員	数年前に操法大会を見学した時、消防関係者しかいなく、見学しづらい雰囲気があったが、今回のような子供も参加するイベントなら、気軽に見学することができた。
委員	このイベントを見学しなかったが、写真を見る限り動物を使った説明を行うなど、子供が親しみやすいように工夫していると感じた。
委員	イベントも良いが、もう少し操法大会にも目を向けてもらうようにすべきでは。
議長	事務局としての意見はどうか。
事務局	今回の開催にあたり、事前に2箇所のカエルキャラバン開催の様子を視察したが、防災や消防行事と同時開催することにより、どちらも盛況であった。消防団の周知に有効であると感じるので、このイベントを開催することとした。

発言者	説明内容・発言内容等
議長	次に、秋のフェスティバルの放水体験は平成28年度の参加者が600人以上で、毎年増加しているが、呼びかけなどの啓発を行ったのか。
事務局	<p>事前に広報等で周知したが、開始から3年経過し、定着したことが要因の一つだと思う。</p> <p>以前から、子供たちが放水をしている姿を保護者に撮影してもらっていたが、今年度は特に「加東市消防団」の名前の入った防火衣とヘルメットを着用し、消防車両の前で筒先を持った姿と、この出で立ちで放水している状況を保護者に撮影してもらったこと、更に子供たちに興味の湧く記念品を渡したことなどが影響したのではないかと。</p>
議長	<p>昨年度比で150人も増加したのは大きいことだと思う。</p> <p>ほかに何か意見は。</p>
委員	操法の見方だが、得点の付け方がよくわからなかったもので、パネルのようなものでわかりやすくしてはどうか。
議長	<p>操法大会は一般の人にとってはまだ距離があるため、プロの目から解説があったほうが分かりやすいのでは。</p> <p>ほかに意見がなければ、次の議題に入りたい。</p>
委員	加東市制10周年で実施したと聞いたが、カエルキャラバンは毎年実施してはどうか。
議長	<p>毎年は難しいかもしれないが、4年に1回くらいの開催で検討してはどうか。</p> <p>次の議題(2)平成29年度以降に実施できるよう平成28年度から取り組んでいるもの、(3)中期的な取り組み、(4)長期的な取り組みについて、事務局から説明願う。</p>
事務局	議題(2)、(3)、(4)について説明。
議長	議題(2)について。消防団のPRにおいてSNSを利用することについて意見を伺う。
委員	消防団に加入してほしい若い世代は、スマートフォンなどにより、情報を手軽に調べ、検索するツールを利用するので、SNS等は有効であると思う。
委員	<p>消防団の入団について、雇用側の会社から社員に対し、入団の促進依頼をしているが、新しく立地した会社には市から積極的に働きかけをしてほしい。</p> <p>市役所の職員は他市在住の人が増えているため、市役所分団の設立は良い案だと思う。</p>
議長	企業への依頼は紙ベースだけで十分か。
委員	火災が発生した場合、企業の中には団員の出勤を拒む場合があるため、企業全体で出勤に対し、バックアップ体制が取れる様な働きかけを行政側で行って欲しい。

発言者	説明内容・発言内容等
議長	市の考えとしてはどうか。
事務局	企業へ協力の呼びかけを行っていきたい。
委員	ホームページの原稿で、1は「消防団とはどんな組織なの？」となっているが、内容を見ると「組織」ではなく「歴史」ではないか。また、文字が多すぎるのもっと簡略化してはどうか。
事務局	スマートフォンで見える場合、これだけの文字数だと読みにくいので、もう少し簡略化したい。
委員	委員の中には、消防団に未加入の方も居られるが、この件について奥さんの理解はあるのか。また団員を増やすにあたり、家族や奥さんの理解が必要になってくるのでは。
委員	妻は、消防団は危険との理由で加入に反対しているし、休日は団活動の出動機会が多く、家族との時間を割かれるため、入団に前向きではない。 私個人としては、年齢が高くなってきたので、入団へのモチベーションが持てれば加入するかもしれないが、現状はそこまでの意欲を見いだせない。
委員	市では消防団のPRチラシなどは配布しているのか。
事務局	出初式や操法大会など大きな事業の時は、広報紙など周知を行っている。
委員	ホームページ等のアップもしているが、それらを見る機会がない人には広報等も有効ではないか。
議長	消防団としての意見はどうか。
委員	先日車両火災が発生し出動していた時、新聞記者と話をする機会があった。そこで、消防団の理解を広く周知してもらうため、加東市消防団の記事を今以上に上げてほしいと依頼した。
議長	新聞に載ると同じ事業をしても、周りの注目度が違う。
委員	発生した火事だけではなく、活動内容を載せてほしい。
議長	市職員による消防団設立の詳細を説明願いたい。
事務局	全職員に、現在消防団に加入しているか否かのアンケートを取った。その結果、既存の消防分団に未加入の者の内、市役所分団を設立した場合、加入の有無の意思確認を行った結果、男女併せて15人程度いた。今後、設立に向け検討をすすめている。
議長	加東市の中には色々な「検討委員会」があり、その中には結果が伴わないものもあるが、この検討委員会は、形となって現れている。 「先ず隗より始めよ」というように、消防団の諸問題の取り組みで、市の内部が他人事ではなく、まず市役所分団を設立することの動きは、これらの問題の前進に大きく貢献するのではないか。 ほかの意見を伺いたい。

発言者	説明内容・発言内容等
委員	出初式を見ている、女性団員がいれば、式典も華やかになるのではないかと。
委員	他の自治体でも、女性団員は多く居り、色んな記事が掲載されているが、その記事を見るのは、消防団関係者が多く、一般の方ではあまり見ていない。 女性団員だけの操法大会もあり、以前加東市が参加したことがあるので、市の操法大会に女性団員として出場してはどうか。
議長	女性消防団の意見が出たが、女性としての意見はないか。
委員	私は、以前女性の操法大会に選手として出場したので、得点の付け方はある程度分かるが、一般の人には採点方法は理解しにくいのではないかと。 操法はパフォーマンスで、実際に火事の現場で火を消すことはできないが、今後機会があれば、出てみたいという気持ちもある。 ただ、主婦などであれば色々と難しい点もあると思うが。
委員	女性団員として操法に出場したいと思っている人はいるのではないかと。そのためにも市役所で受け皿を作れば、入団を希望する人も現れるのではないかと。
議長	議題(2)平成29年度以降に実施できるよう平成28年度から取り組んでいるものについては、他に意見がないので次の議題(3)中期的な取り組みに入りたい。
委員	学校教育での取組や、操法大会の出場分団の統合などは良い考えだと思う。操法の出場間隔を延ばすのは良いが、分団によっては操法の時しか、機材を使用する機会がなく、いざ火事のときに使えないと言うこともあるので、機材の点検を必ず行うよう指導してほしい。
議長	委員から操法は、実際の火事現場で役に立つものではないのでは、という意見もあるが、そうではなく操法は機材の点検等にも繋がっている。 操法大会は実際の火事とは全く別物との認識があるかもしれないが、この件に関し、消防団の考えはどうか。
委員	操法大会が開催される度に、操法は有事の際に安全に素早く消火できる技術を身に着けるためのもので、決して無駄なものではないと言い続けている。
議長	操法を行うことにより、消防用ポンプの操作方法や、資機材、ホース延長の手順など、基本的な技術を身に着けることに役立っている。 また、消防用倉庫などが乱雑にならないよう、様々なチェックをする必要があると思うが、消防団として意見を伺いたい。
委員	消防用倉庫の点検は、年1回団幹部が各分団の詰所を巡視しており、車両、ポンプなどは毎月1～2回各分団の月例点検で行わせている。また、ポンプは機関員訓練と小隊別訓練の最低年2回は実戦形式で運転させている。小隊別訓練は、多くのホースを使う中継送水訓練も行っており、器具の破損などの有無も確認でき、資機材や倉庫の点検はできている。
議長	議題(2)中期的な取り組みについてほかに意見はないか。

発言者	説明内容・発言内容等
	なければ、議題(3)長期的な取り組みの意見を伺いたい。
委員	消防団が組織されていない自治会もあるため、組織化して欲しい思いはある。 今年度、組織化されていない自治会と消防団で合同の消防防災訓練を行った。この自治会は消火栓があっても格納箱がなく、有事の際の設備が整っていない。訓練は、自治会の参加者も50人程度いたが、参加して良かったと言ってもらえた。
議長	これは②分団組織のない地区等の体制強化についての話になるのか。
委員	そうです。
議長	常備消防から見て、このような自主防、消防団、消防署の三位一体の取り組みについてどう思うか。
委員	現在、火事の鎮火後の見守りは地元の消防団で行ってもらっているが、消防団組織がない地区は、常備消防が帰った後、どこがその任務を行うのかの問題がある。 また、消防団は地元自治会と一体となった活動や支援を受けているが、自治会がその意識を持たないと、団の組織化は難しいと思う。
議長	以前にも出ていたが、市内のある地区では、平日昼間は、現役団員が地元にはいないため、地元に住る消防団OBが活動しようと考えている。この件は、ほかの地域でも同様だと思うが、どうか。
委員	火事が起きても、平日昼間に現役団員は地元に住らず、初期消火が出来ない。OBは多数いて、消防車の運転を志願する者もいるが、現状ではそれは難しい。
議長	地域との連携が出来ていても、色んな制約などで、消防車両の運転ができないこともある。
事務局	現役団員は、消防団公務災害保険が適用できる。現役団員以外の方であっても、現役分団と同様とまではいかないが、市の傷害保険が適用できる。
議長	何れにせよ、消防団活動に地域のバックアップは必要不可欠だと思う。現役団員以外の方に、安全で適正な支援が出来るかに関し、事務局で保険の適応範囲等を含め研究してもらおう。 次に、議題(5)加東市消防団のあり方検討委員会の提言について、加東市消防団のあり方に関する提言書(案)資料の13ページ以降について、事務局から説明を願う。
事務局	13から17ページについて説明。 提言書は3月中に委員長から市長に提出する予定。
議長	提言書は、議事の(2)から(4)までを、表現方法を提言書とした内容でまとめたものになる。この中には15ページ(13)のように、委員から出された意見以外に追加された項目もあるが、提言書(案)の説明を聞かれた上で、意見があれば伺いたい。
委員	女性団員の加入も推進しているとはいえ、消防団は男性が活動の主体となってくると思う。このため、消防団の周知啓発に関し、主婦などに消防団活動を応援するため

発言者	説明内容・発言内容等
	の理解と協力を呼びかける一文を入れてはどうか。
議長	<p>ある委員さんが以前から言われている意見の中に、消防団に入団して、地区の先輩から地域のことを教えてもらったと言うメリットがある反面、デメリットもあることを思い出した。</p> <p>ほかに、意見を伺いたい。</p>
委員	<p>消防団がない地区は誰が火を消すのか。例えば、自主防災の訓練で天ぷら油から出火した場合の消火訓練を経験していれば、知識もあり消火することも容易ではないか。</p> <p>消防署や消防団が到着する前に、地元に住る住民が、消火栓と格納箱を使って初期消火が出来る体制をつくることも大事である。</p>
議長	<p>まずは自分の家から火を出さないこと。もし火が出た場合でも、被害を最小限に抑えたとしたこと自身で身に付けていくことが大事である。</p>
委員	<p>誰でも、自分の家から火が出たらまず自分で消火することは当然のことであり、その延長で、自分たちの家は自分たちで守るという意識が必要。</p> <p>この地域は災害の発生が少ないため、一般の方は消防団の必要性を認識していない人が増えているのではないか。</p>
委員	<p>特に消防団がない自治会は、消火栓があってもホースなどが入った格納箱が必要と認識していない自治会もある。自分たちのまちは自分たちで守ることの実現のため、最低限の意識として、これらの器具が必要であることと、自分たちが維持管理をしなければならぬことなど、義務として認識してもらうための呼びかけを、市から自治会に行ってほしい。</p> <p>消防団組織がない自治会でも最低限、これらの維持管理を行ってもらうよう、働きかける文言を入れて欲しい。</p>
議長	<p>地域に住む住民自らが初期消火を行える体制を整えることですね。</p> <p>消防活動について、家族の理解と協力が必要と考えるが、意見を伺いたい。</p>
委員	<p>私の祖父も消防団に加入していたが、災害が起こると、祖父は家を任せて出て行き、その間に実家の近くが浸水したこともあった。その時家族から、自分の家と消防団とどちらが大事なのかと喧嘩になったことがあった。</p> <p>普段から家族内で、消防団の訓練や行事内容など、その必要性を話しておくことで、少しでも家族の理解を得ることになるのでは。</p>
議長	<p>消防団員の家族は団員の安全について、大きな不安を抱いている場合がある。安全に対する教育をまとめたEラーニングという教材を消防庁が出している。システムはあるが、それが形で見えてこないが、この件について消防団としてどう思うか。</p>
委員	<p>加東市消防団は、新団幹部を対象に三木市の消防学校において1泊2日で行う消防団幹部研修に参加させている。</p>

発言者	説明内容・発言内容等
	<p>なお、団員には年1回、消防団員等公務災害補償等基金から専門の知識を持った講師を招き、消防団員の事故防止のための安全管理セミナーを開催している。</p> <p>また、火災現場では、消防団は基本的に消防署に補水するに留めて、最前線に行かないようにしており、このことは消防団員に伝えて安全面でも配慮している。</p>
議長	<p>ほかに意見はないか。</p> <p>本日出た意見や文言の整理、またどのように提言書に反映させるかは、事務局に一任することで良いか。</p>
委員	良い。
事務局	<p>一任いただいたので、本日の意見を反映するが、再度資料を読み返した中で、新たな意見等があれば、3月27日(月)までに事務局までお知らせ願いたい。また、本日の委員会欠席者にも同様に書面で意見を求める。ここで出た意見をもとに、精査した上で3月中に委員長から市長に提言書として提出してもらうことにする。</p>
議長	提出は、消防団長と一緒にどうか。
委員	了解しました。
議長	本日はこれで終了する。
委員	<p>消防団はまず自身の安全を確保して活動を頑張ってもらいたい。消防署もそのために指導に力を入れていただき、今後も、お互いに協力していきたい。</p>

5 閉会